

12月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R3. 11. 30 文京区立本駒込幼稚園



「先生、見て！」の言葉の意味

副園長 山下 美幸

今年も残りあと1か月となりました。園庭のイチョウや紅葉も色付き秋の深まりが感じられます。暖かい日差しが降り注ぐ園庭で、元気に遊ぶ子どもたちの姿にとっても癒される毎日です。

保育室や園庭の様子を見に行くと、子どもたちから「先生、見て！」と呼び止められます。この何気ない「見て！」という言葉ですが、学年によって子どもたちの発する意味合いが違っていると感じています。

年少ちゅうりっぷ組に行くと、ブロックで作った乗り物や広告の紙を丸めた棒にハートや星の形の紙を付けたステッキなど自分の作った物を「見て！」と声を掛けられました。「いい物、作れたね」と応えると、嬉しそうに動かして見せてくれます。自分の作った物そのものを「見て」ほしい思いがあり、「見て」もらったことで自分の思いが受け止められたと感じているようです。

廊下では、年中さくら組の子が、トライアングルを鳴らしていました。近くまで行くと「見て！」と鳴らして聞かせてくれます。「いい音がするね」と声を掛けると、「きれいな音でしょう？こーやって鳴らすんだよ」と音の美しさへの共感に加えて、自分が知っていることを伝えたい思いが込められている「見て」なのだと感じました。

年長すみれ組になると、「見て」の言葉の中にいろいろな思いが含まれてきます。先日、誕生会の日の朝、Aさんが「今すぐ見に来てほしい」と言っていました。誕生会が始まる前に、司会の練習を見てほしいという思いがあったようです。年長組は、毎月の誕生会で司会に取り組んでいます。Aさんたちは司会の言葉がなかなか決まらずに困っていたところへ、通りかかった私も一緒に考えて決めたという経緯がありました。悩み考えた言葉をしっかり覚えて言えるようになったことを「見て」ほしいという、ここに至るまでのプロセスも含めての「見て」なのだと感じました。また、別の日にBさんに「ちょっと見に来て！」と呼ばれて行ってみると、一日動物村で触れ合ったいろいろな動物を作っているところでした。自分の作った動物人形を見せながら、工夫したところ、本物らしく作りこだわったところを説明してくれました。この「見て」の中には、工夫やこだわりなど頑張ったところなどを含めて「見て」ほしい、認めてほしいという強い思いが込められたものだということが伝わってきました。

来月の発表会に向けて、年中組と年長組は少しずつ取り組み始めています。当日、お家の方に「見て」もらうことを楽しみにしていることでしょう。プロセスはなかなか見えにくいものですが、担任の話や手紙、そして、子どもたちが語る言葉から感じとっていただきながら、子どもたちの姿を「見て」いただきたいと思います。感染症が収束してきましたが、引き続き、対策を講じて実施します。歌と合奏は園庭で行うため、保護者の皆様を始め、近隣や地域の皆様にご協力いただくこととなりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



3学年が園庭で遊ぶ様子

すみれ組の様子
ヤギを作成中。「本物
っぽく作ろう」



手作りモルモット。細かい部分まで再現していました



ようこそ！
すみれ組動物
村へ
本日オープン
です！

